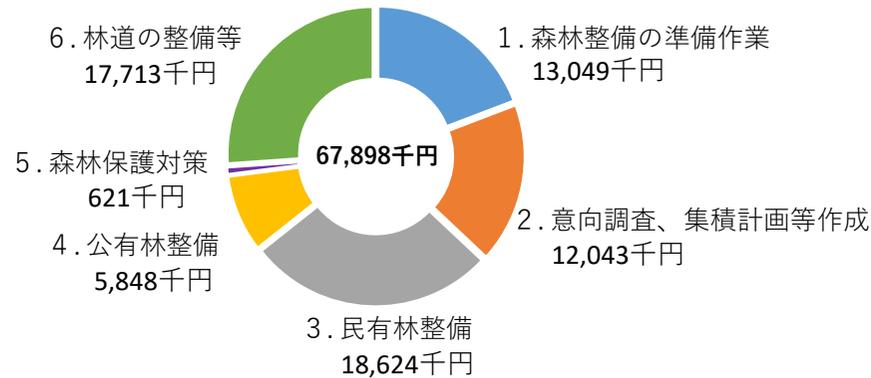


令和5年度 森林環境譲与税の活用状況

- ◆長岡市では、森林組合が実施する民有林整備に対する支援のほか、既存林道の維持管理・修繕、森林経営管理制度に基づく森林整備に向けた取り組み等に森林環境譲与税を活用しています。
- ◆森林経営管理制度に基づく令和5年度の取組みとしては、逆谷地内（三島林班4）において令和4年度に実施した意向調査結果に基づいて経営管理権集積計画を作成し、所有者から同意を得て令和6年度以降の森林整備に備えました。併せて浦瀬町地内（長岡林班9ほか）において森林所有者の意向調査を実施しました。

◆令和5年度 森林環境譲与税の使途



◆基礎データ

①令和5年度譲与額	67,898千円
②民有林人工林面積（※1）	9,992ha
③林野率（※1）	49.10%
④人口（※2）	266,936人
⑤林業就業者数（※2）	60人

※1：農林水産省「2020年農林業センサス」より
 ※2：総務省「令和2年国勢調査」より

◆長岡市内の森林整備状況

- ◆長岡市の森林面積は43,773haで、市域の49.1%を占めています。民有林面積は41,447ha、そのうち杉を主体とした人工林面積は10,981haであり、人工林率は26.5%と県平均人工林率24.9%を上回っています。
- ◆令和3年度の素材生産量は約3,811m³であり、主に中越よつば森林組合が生産しています。
- ◆組合は、このほかにも造林、保育などの地域林業の担い手として大きな役割を果たしていますが、従事者の確保が課題となっています。
- ◆また、長期にわたる木材価格の低迷等により採算性が合わず、森林所有者や市民の森林に対する関心が薄れていった結果、多くの森林が手入れをされないまま、今に至っています。



令和5年度取組事業内容

1 森林整備の準備作業（事業費13,049千円）

① 既存データ活用マニュアル作成

【事業費】 1,870.0千円（うち譲与税1,870.0千円）

【内 容】 森林資源データ実装ツール（タブレット端末）の導入（5台）
航空レーザ測量に基づく森林資源解析データを用いて森林整備に活用できるツール及びマニュアルを整備しました。

【効 果】 ・机上により森林情報を把握するとともに、GIS位置情報と連携し、現場においても端末で森林情報を確認することが可能となったほか、路網計画システムにより路網検討が効率的に行えるなど、作業効率の大幅な向上が図られます。



（赤色立体地図）



（実装データ格納済み端末）

② 森林情報に関する整備・運用

【事業費】 13,354.0千円（うち譲与税11,179.2千円）

【内 容】 ○森林地番図データ作成（旧長岡市川東北部の一部）
○林地台帳システムの運用経費
○森林クラウドの運用経費

【効 果】 ・公図を基に森林地番図を作成することで、林地台帳の精度が向上し、森林の位置や所有者の把握が容易になります。
・林地台帳や森林クラウドの各システムを活用することで、県の森林簿と連携した森林情報を提供することが可能となります。

令和5年度取組事業内容

2 意向調査・集積計画等作成（事業費12,043千円）

① 経営管理意向調査

【事業費】 2,437.6千円（うち譲与税2,437.6千円）

【内容】 浦瀬町地内 11.5haの意向調査実施
森林経営管理制度に基づき、登記簿などから森林所有者を確定し、森林の経営管理に関する意向を調査しました。

【成果】 意向調査の結果、市に経営管理の委託を希望する所有者が多かったため、森林経営管理制度に基づく森林整備を計画的に進めることになりました。



（経営管理意向調査）

② 集積計画策定

【事業費】 9,605.2千円（うち譲与税9,605.2千円）

【内容】 逆谷地内 47.29ha（三島林班4）、対象者数 65人

【成果】 森林所有者の意向に則った集積計画（※）を作成することで、森林経営管理制度による森林整備を推進しました。

※ 集積計画とは

- ・経営管理権集積計画は、市が間伐など必要な経営管理を行うべきと判断した森林について、その所在や状況、経営管理の方針等を定めます。
- ・その計画を森林所有者の同意を得て公告することにより、森林の経営管理を行う権利（経営管理権）を市が取得することになります。

令和5年度取組事業内容

3 民有林整備（事業費18,624千円）

○林業振興基盤施設の整備

【事業費】 18,624.0千円（うち譲与税18,624.0千円）

【内 容】 森林組合が行う民有林整備に対する補助金

- ・人工造林 5.84ha
- ・保育間伐、下刈 49.83ha
- ・森林作業道 2.7km

【成 果】 森林の整備、保全により、森林の有する水源涵養、災害防止等の公益的機能の維持増進とともに林業振興を図りました。



（間伐前）



（間伐後）



（間伐後の林内状況）

4 公有林整備（事業費5,848千円）

○自然観察林の維持管理

【事業費】 5,847.6千円（うち譲与税5,847.6千円）

【内 容】 ・維持管理面積 37.93ha、・間伐等

豊かな自然環境に触れ合うことができるよう、多様な樹種からなる明るく色調に変化を有する森林を維持するため、下刈、不良木等の撤去等を行いました。

【成 果】 観察林として適切な森林整備を行ったほか、安全・快適に散策できる施設環境を整備しました。



（施設内除草）



（防虫薬剤注入）



（不良木伐採）



（誘導看板設置）



（防護柵設置）



（施設内側溝清掃）

令和5年度取組事業内容

5 森林保護対策（事業費621千円）

○松くい虫被害木調査、伐倒駆除

- 【事業費】 621.5千円（うち譲与税621.5千円）
- 【内 容】 ・松くい虫の被害調査：160.34 ha（柿町ほか地内）
・被害木の伐倒くん蒸： 9.65m³
- 【成 果】 松くい虫被害の拡大防止を図りました。



（松くい虫くん蒸）

6 林道の整備等（事業費17,713千円）

○林道の維持管理、林道台帳整備

- 【事業費】 17,712.9千円（うち譲与税17,712.9千円）
- 【内 容】 ・管理延長：170.304km（改良、修繕、除草ほか）
・林道台帳のデジタル化 2路線
- 【効 果】 ・林道の適切な維持管理により、安全で効率的な森林管理及び施業が可能となります。
・林道台帳のデジタル化により、災害時等に机上で位置や幅員等の情報把握が可能となります。



（林道除草）



（横断側溝新設）



（L型側溝新設）



（林道台帳見取り図）